

リアルタイムPCRは遺伝子発現解析に欠かすことができない手法として多くの研究分野で活用されています。今回のセミナーではサーモフィッシャーサイエンティフィック社より講師の方をお迎えし、臨床検体を含めたRNAサンプル取扱いの注意点を含めて、リアルタイムPCRを行うにあたり必要な基礎知識と安定した結果を得るために必要となる実験のコツなどをご紹介します。

これから研究を始める方も更に良好なデータを出したい方にもお役に立つ内容となりますので、この機会に是非ご参加ください。

【スケジュール】

- (1) RNA抽出やサンプル準備の注意点 (約30分間)
  - ・回収したRNAの品質評価のポイント
  - ・逆転写反応やcDNA溶液取扱いのコツ
  - ・臨床系検体からの解析注意点 など
- (2) リアルタイムPCRの基礎原理と活用法 (約60分間)
  - ・リアルタイムPCRの基礎原理
  - ・蛍光ケミストリ (TaqMan法/ SYBR Green法) の特徴
  - ・遺伝子発現解析方法 (検量線法/  $\Delta\Delta$ CT法)
  - ・内在性コントロール選択のコツ
  - ・良好な結果を出すための分注操作 など



日時：2026年1月14日(水) 16:30-18:00

開催形態：オンライン (Zoom)

講師：白神 博 (サーモフィッシャーサイエンティフィック)

言語：日本語

申込方法：以下のURLからお申込みください。  
<https://forms.gle/EY3UvoppTDtMEKca6>



申込

締切：2026年1月13日(火) 13:00  
 ※締切後、Zoom開催情報及びアンケートフォームへのリンクを申込者全員にメールでお知らせします。

備考：遺伝情報解析室ではサーモフィッシャーサイエンティフィック社のリアルタイムPCRシステムStepOnePlusの共用を行っています。